あいちデジタルヘルス
オープンデイ 2026

2023年9月に33団体で発足したあいちデジタルヘルスコンソーシアムでは、現在120を超える企業や自治体などが活動しています。

この度、**知る・つながる・体験する**をコンセプトに、最新のデジタル技術を活用し、健康を楽しく支えるような製品やサービスなどの展示や体験のほか、イベントエリアでは講演やトークセッションなども実施します。

知る



つながる



体験する



2026.12.22(火)　13:00-17:00

ウインクあいち 5階 小ホール1・2　参加無料　要事前登録

問合せ：あいちデジタルヘルスコンソーシアム事務局
(JPABAichiDHPDL@abeam.com)

参加申込はこちら
期限：12/17(木)17:00

タイムテーブル

	展示エリア（ホール1）	イベントエリア（ホール2）
	12:30〜　受付開始	
13:00-	展示会	13:30-14:30 基調講演
14:00-		
15:00-		15:00-15:45 会員企業トークセッション
16:00-		16:15-17:00 事例発表

ステージイベント紹介

13:30-14:30　基調講演「0次予防から始まる健康国家戦略」

病気を治す医療から、病気が起こりにくい社会を設計する医療へ。2040年、そして2100年に向け、加藤浩晃氏の思い描く医療の再設計の全体像とは？また、そうした社会に向け、あいちデジタルヘルスコンソーシアムは何ができるかについてお話いただきます。

＜講師プロフィール＞



加藤 浩晃（かとう ひろあき）
デジタルハリウッド大学大学院 特任教授、東京科学大学医学部臨床教授、アイリス株式会社 共同創業者・取締役副社長CSO、あいちデジタルヘルスプロジェクト有識者会議委員。眼科専門医として1,500件以上の手術を執刀後、厚生労働省にて医療制度改革に取り組み、同省初の医療ベンチャー支援政策を立案。2017年にAI医療機器開発のアイリス株式会社を共同創業し、日本初のAI搭載新医療機器「nodoca」の承認・保険適用を実現。2023年にはスタートアップワールドカップ世界大会で優勝。2026年7月、『0次予防から始まる 健康国家戦略: 2040年における医療の未来予想図』（メディカルレビュー社）を出版。他、監修を含め40を超える著書あり。

15:00-15:45　会員企業トークセッション「なぜ今、ヘルスケアに挑戦するのか」

「皆保険制度の下では、健康づくりに人々はお金を投じない――。」こうした通説・常識の中、ヘルスケア事業に取り組むのは何故か。会員企業の取組にスポットを当てながら、現状打破にチャレンジする各社の思いやこだわりを伺いながら、皆さんと一緒に突破口を探っていきます。
登壇事業者：（株）IGSA、（株）スピード、（株）データホライゾン、TOPPAN（株）

16:15-17:00　事例発表　豊田市「ずっと元気！プロジェクト」のいま

官民連携による社会課題解決手法の一つとして注目されているソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）を活用した国内最大級の介護予防事業である、豊田市「ずっと元気！プロジェクト」は、2021年度からの5年間の取組成果を引き継ぎ、この9月から第2期の取組を開始しています。プロジェクトの取組詳細や、第2期に込められた関係者の思いについてお話いただきます。

ブース出展企業・団体一覧（五十音順）

味の素株式会社	株式会社IGSA	株式会社イル	ウェルネスバレー推進協議会
エーザイ株式会社	株式会社ATグループ	株式会社エクシング	NTT西日本株式会社
ジョージ・アンド・ショーン株式会社	株式会社スギ薬局	株式会社スピード	株式会社データホライゾン
TOPPAN株式会社	株式会社トップフォート	医療法人豊田会	豊丸産業株式会社
株式会社ナースX	名古屋大学ヘルスケアスタートアップ社会実装推進拠点	日本メナード化粧品株式会社	株式会社はんぽさき
株式会社FastNeura	富士通Japan株式会社	合同会社道設計	株式会社八神製作所
一般社団法人UDCKタウンマネジメント	LOOVIC株式会社		